

西日本 OB サッカー連盟関西地域守口市大枝公園大会 A クラス報告

日時:2026年3月29日(日)

場所:守口市大枝公園多目的グラウンド

参加者:11名(+体験参加者1名)

第一試合 15:00 KO

京都暁 FC 5-0 北河内 FC A

前半 3-0(得点者:百田、山田、体験参加者)

後半 2-0(得点者:百田、鶴谷)

システムは 4-2-3-1

スタートより主導権を握り、右サイド突破から中で、合わせて先制点(百田)

相手ゴールキックを拾い、五家右サイド切り込みドンピシャのタイミングで中へ入れヘディングシュート(山田)

助っ人→山田→池端→助っ人と細かく繋ぎゴール(体験参加者)

DF 陣も安定しており、早い段階でプレスもかかり、ビンチらしいピンチは無かったように思います。

後半も前半同様主導権を握り、暁ペースで進められたたと思います。

左サイド抜け出し、相手ディフェンスに囲まれながらシュート(百田)

ディフェンスからのロングボールを抜け出し、キーパーとの駆け引き勝ちゴール(鶴谷)

ただショートパスの精度や判断、ボールが来る前の予備動作や準備を意識すればもっと楽なサッカーが出来そうな感じですね。

第二試合 15:50 KO

京都暁 FC 5-0 八尾シニア A

前半 3-0(得点者:五家、山田、鶴谷)

後半 1-0(得点者:百田)

システムは 3-2-3-2

前試合より攻撃的に行こうという趣旨とディフェンス陣の安定度を考慮してシステムを変えて挑みました。

ただ 2 試合連続で人数ピッタリという状況で足が止まった感がありました。

そんな中、右サイド突破からそのままシュート(五家)

ゴールキックのミスシュート(山田)

右サイドから逆サイドへの展開をヘディングで中へ折り返し、ワントラップシュート(鶴谷)

綺麗な崩しでした！

後半は相手に押し込まれるシーンも多くあったが、ゴールキーパーと中神のファインセーブでクリーンシート

左サイド相手の裏へのボールからズドン(百田)

スコア的に圧勝ではあるが、疲れた時ほどパスの精度、判断スピードを上げる事の大切さを感じました。

トータルして良い内容で終わったのではないのでしょうか

報告者 山田 憲司

